

いのちの授業【保健体育科】学習指導案

授業者：N・M

1. 本時の指導

(1) 題材「飲酒と健康」

(2) 目標

アルコールは脳や神経の働きを低下させ、心身の働きに悪影響を与えることや、一度に大量の酒を飲むと死につながることもあることを理解する。(保健体育科)

未成年期には飲酒の悪影響を強く受けることを理解するとともに、自分自身のアルコールとの関わり方を考え、自分の心身を大切にしていこうとする意識を持つ。(いのちの授業)

(3) 指導過程

	学習活動	主な発問()と指示()	指導上の留意点(・)と評価()
導入	飲酒運転による死亡事故の記事を見る。 飲酒と健康について考えよう。	この記事を見てください。 なぜこのような事故が起こったと思いますか。	・飲酒による運転が重大事故につながることを理解させ、本時の興味、関心を高め、課題意識を持たせる。
展開	飲酒の体への影響を理解する。 自分のアルコールに対する体質について調べる。 ・アルコールパッチテストを行う。 心身の発育・発達期にはアルコールの悪影響を強く受けることを理解する。	お酒を飲むと、体にどんな影響が現れるでしょうか。 一度に大量のお酒を飲むと、人はどうなるでしょうか。 自分は酒に強い体質なのか、弱い体質なのかを調べよう。 未成年者の飲酒が法律で禁止されているのはなぜでしょうか。	・少量の飲酒は人を楽しい気分にすることもあるが、それは脳の理性的な働きが低下しているためであること、過度の飲酒は自制心や思考力を低下させ、転落、交通事故、暴力といった事件の原因になることを説明する。 ・例として「一気飲み」について説明し、非常に危険でしにつながることを強調する。 酒に弱い体質の人 (アルコールの影響を受けやすく、急性アルコール中毒にもかかりやすいので、将来、酒を無理に飲まないようにすべきである。) 酒に強い体質の人 (一度に大量の飲酒をすると急性アルコール中毒になる。また、長期にわたる過度の飲酒で健康を害する危険性が高い。アルコール依存症につながる。) ・未成年から飲酒を始めると、脳をはじめとするさまざまな器官に障害が起こりやすいだけでなく、依存症につながることを理解させる。
まとめ(いのちの授業)	本時のまとめをする。 自己評価を行い、感想を書く。	将来、お酒を飲むことがあったらあなたはどうしますか。 感想を書きましょう。	・将来お酒とどのように付き合うのかを意識化させる。 飲酒の影響と害について理解することができたか。 自分の心身を大切にしていこうとする気持ちを持つことができたか。

(4) 評価

飲酒について、その影響と害を理解できたか。

自分の心身を大切にしていこうとする気持ちを持つことができたか。